

槻井泉政策提言

～憩いの場として機能するための条件とは？～

ミツカン

大泉 由佳

野田ゼミ

大和田 力己
田所 亜美
田中 珠李
豊田 南歩

【問】

なぜ槻井泉神社は地域の人々にとって

"憩いの場"

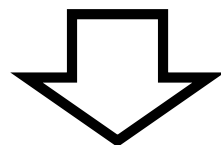
として機能しているのか？

そもそもここで言う

"憩いの場"

ってなんのこと...?

"憩いの場"

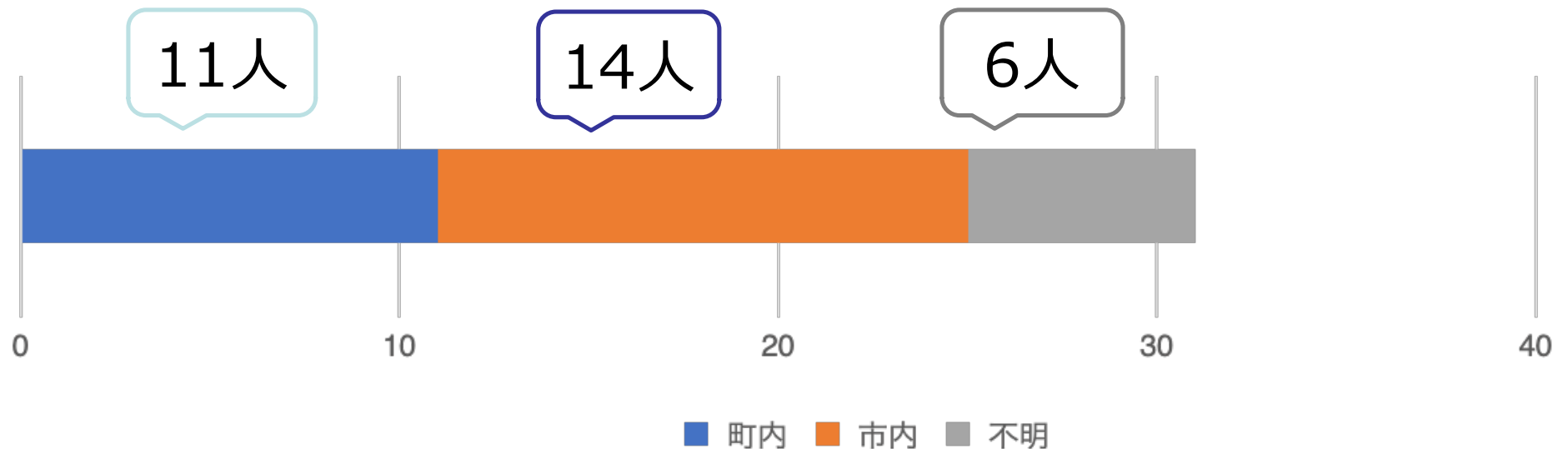


地域の人々が愛着を持っている場所
地域の人々に積極的に利用されている場所

聞き取り調査の結果

8月7日 5時30分～17時の11時間半滞在（お昼除く）

Q.お住まいの地域はどこですか？（計31人）



ほとんどの人が市内・町内から利用していた

⇒ **地域の人々に積極的に利用されている!!**

— Q.どれくらいの頻度で利用しますか？ (計31人) —

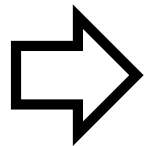
約50%の人たちが週に1回以上(内：8人が毎日)利用!!

利用者の中には...

「15年間毎日来ている」や「5.6年間通っている」

という人もいた!!

多くの人が"日常的"に湧水を利用!!



湧水が地域の人々の生活の一部として溶け込んでいる!!

滞在時間にも注目!!

平均的に滞在時間が長かった!!

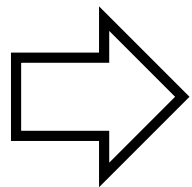
(Ex.お参りする、日陰で涼む、鯉を觀賞する..)

湧水を飲みながらベンチで読書をする人も!!



90代女性

「昔はここで洗濯をしたり、野沢菜を洗ったりしていたね。
公民館で習字やカラオケもやっていたんだよ。」

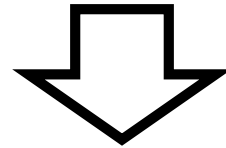


地域の人々が愛着を持っている場所!!

調査の結果から...

槻井泉神社は地域に根付いた空間であり

人々にとって憩いの場として機能している!!



つまり槻井泉神社は..

『**松本市が目指す活気ある湧水や井戸の成功事例**』

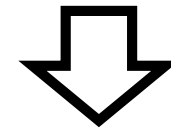
であるといえる!!

憩いの場なのは分かったけど...



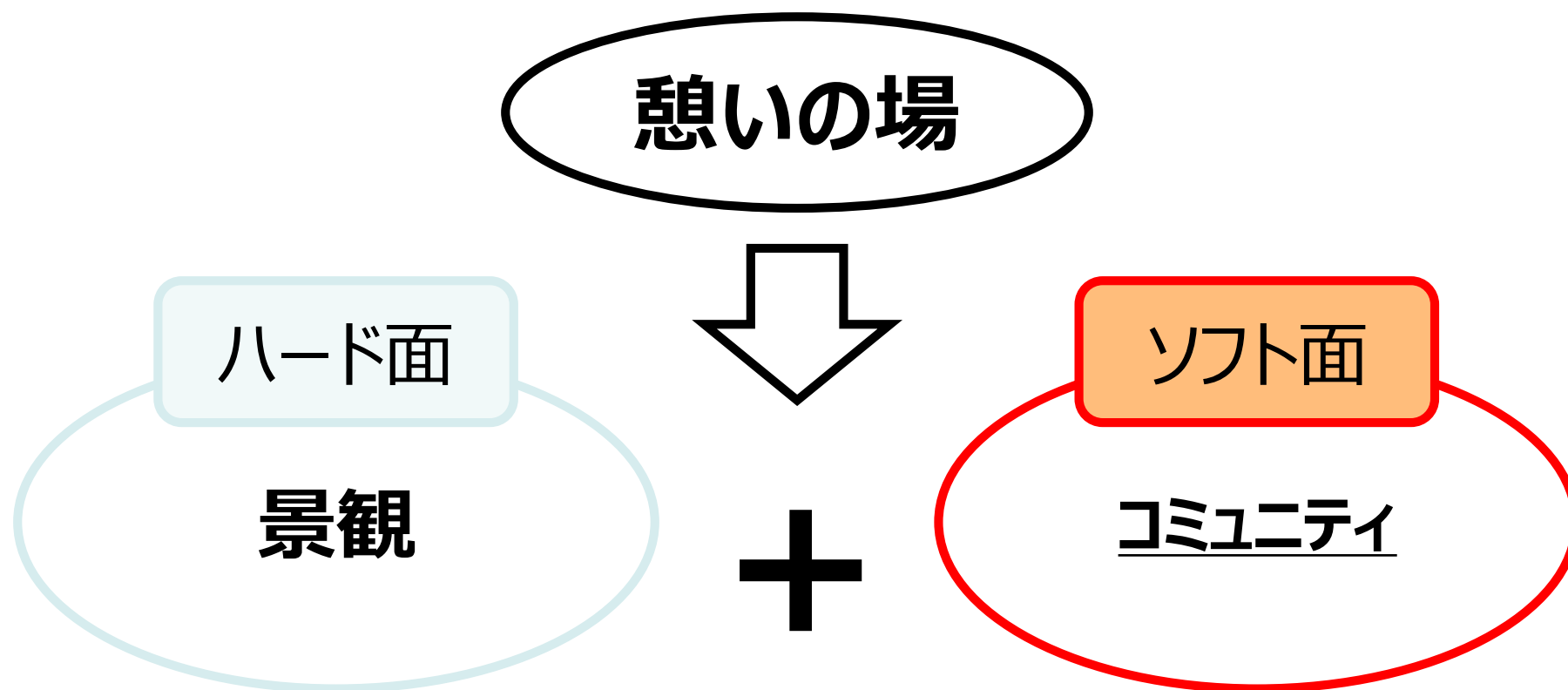
なぜこの空間は
憩いの場として機能して
いるのだろうか？

この問いを明らかにする



他の井戸の魅力化のヒントになる！

【問いに対する結論】

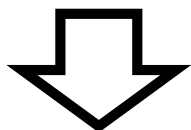


両者の充実が必要不可欠!!

景観

視覚的要素

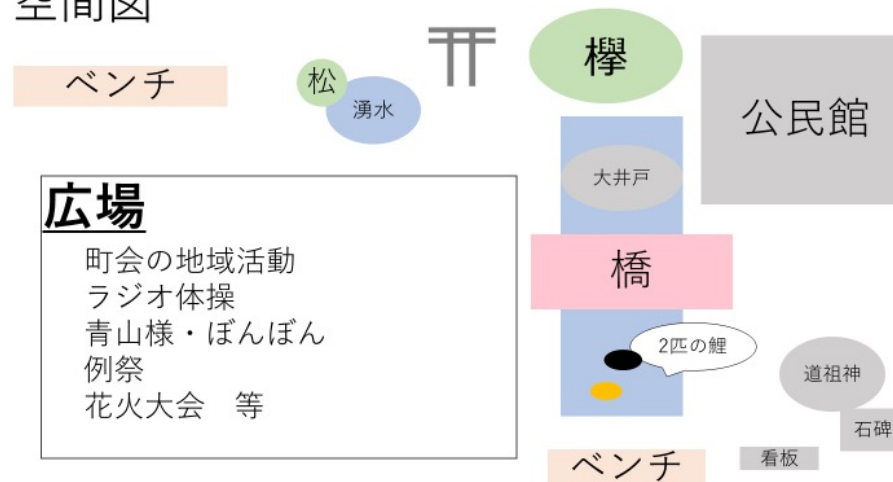
- ☐ 綺麗
- ☐ 欅の木
- ☐ 松の木
- ☐ 橋
- ☐ 鯉



居心地の良さに繋がっている!



空間図



広場

町会の地域活動
ラジオ体操
青山様・ぼんぼん
例祭
花火大会 等

具体的な効果

綺麗!!



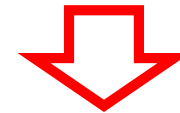
清潔・印象が良い

欅の木・松の木



緑・日陰が涼しさを生む

橋・鯉



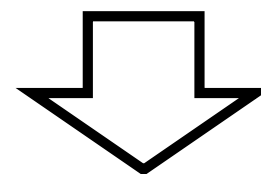
非日常感・物珍しさ

多くの人が勘違いすること...

なるほどね!!
綺麗に掃除をして、
緑を増やせばいいのか!
鯉も飼って
橋も掛けちゃおう!



ハード面だけでは不十分!!



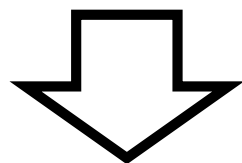
憩いの場にするには

ソフト面の充実も必須!!

コミュニティ

"POINT!"

槻井泉神社のある清水西には
活発に活動する町会が存在している!!



独自の強いコミュニティを形成!!

コミュニティの強さ①：地域活動（イベント）

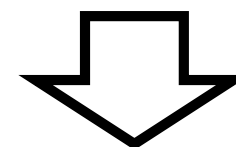
コロナ前

1月....道祖神祭り
三九郎
6月....女鳥羽川一斉清掃
7月....ラジオ体操
8月....映画観賞会
青山様・ぼんぼん
槻井泉神社例祭
花火大会
11月....文化展

現在

槻井泉神社例祭は必ず実施!!
10月にお茶会、12月に蕎麦会

コロナに注意しながら実施



コミュニティの強さの証明!!

コミュニティの強さ②：区民だより

地域活動を実施するだけでない!!

清水西地区は、**区民だより**を発行している

区民だよりとは

「清水西地区で1962年から現在まで
絶えず発行されている広報誌」

文化部が毎年発行!!



区民だよりの内容

祭りなど地域活動・町会の出来事・町内住民の寄稿



さらには!! 町内で起きた小さな問題も記載

平成22年 ケヤキの木に毛虫が大量発生し駆除を行う

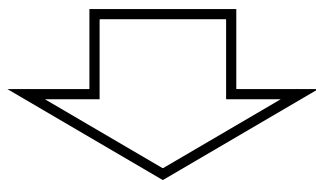
→些細な事件も町内に共有できるコミュニティ



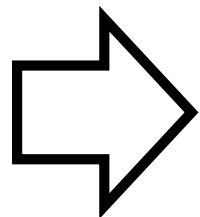
絶えず日常や価値観を共有している = コミュニティの強さの現れ

コミュニティのメリット①

町会が槻井泉神社や隣の公民館で
地域活動を実施



地域活動を通して槻井泉神社に
地域の人々を呼び込む

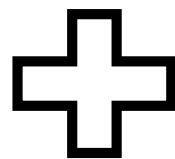


この流れが槻井泉神社を憩いの場になっている!!

コミュニティのメリット②

本来の目的

槻井泉神社に水を汲みに行く



付加価値

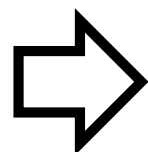
地域のお友達とお話をしに行く

⇒ **水以外の付加価値が生まれる!!**

コミュニティのメリット③

お茶会

・・・ 神社の掃除をした後に、公民館でお茶を飲む

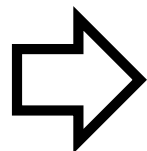


神社の綺麗さとコミュニティの強化が共存している!!

住民主体の整備

行政は補助的な役割!!

月に2度の神社の清掃、ベンチの設置、ペンキ塗り...



ハード面

にも良い影響を!!

水場改修の年表（区民だより）

年	内容
平成2年	町会からの要望で市が地下40mまで管を打ち込み、深井戸を施工
平成12年	住民が、鳥居の左に高さ70cmの水飲み場（湧水）を作る。
平成15年	池の真ん中の湧き出し口を囲むように石臼を設置、（季節ごとに自噴量を調節するため） → 1 年後、市が機能性の高いポンプを設置
平成26年～	水飲み場の排水管を増やす方法を住民で中心で試行 →住民で配管したが見栄えが悪いため、市の文化財課の相談
平成29年	周辺の石畳の修理と併せて50mmの水飲み場排水管を地下に埋設

【結論のまとめ】

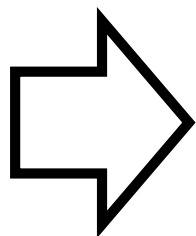
憩いの場として機能するためには...

ハード面

と

ソフト面

両者の充実が必要不可欠!!



特に重要なのは

コミュニティ

である!!!

【政策提言】

基本施策 5-7

緑を活かした魅力あるまちづくり

目標
(目指す姿) 緑や水辺などの地域資源を活かし、人々が集い賑わう、魅力あるまちを目指します。

現状と課題

- ・花いっぱい運動®の発祥の地としてこれまで培われた緑化の機運や活動を、絶やすことなく、次世代に継承していかなければなりません。
- ・都市化に伴い、街中の緑が減少している中、環境や防災などの観点から緑の重要性が高まっています。

成果指標

指 標	現状値	目標値 (R 7)
中心市街地の新築に伴う緑化面積 (景観法第16条第1項)	—	6,000㎡
市民1人当たりの公園面積	14.66㎡	14.66㎡

施策の方向性

- ・市民による緑化活動の支援
オープンガーデンやフラワーコンテストなどの、市民による活動の紹介や発表の機会を通じ、緑化活動や花いっぱい運動の更なる機運醸成を図ります。
また、生垣設置補助や記念樹交付の施策により、私有地の緑化支援を継続して取り組みます。

・河川や井戸など、市民に身近な水辺を活かした憩いと安らぎの空間の創出が求められています。

- ・松本市を代表する公園であるアルプス公園については、その特性を十分に活かし、更に魅力ある空間として整備することが求められています。

じて必要な整備を進めます。

- ・アルプス公園全体の魅力向上
ここにしかない自然やロケーションを楽しめる空間を創出し、時代の要請に対応した賑わいのある公園づくりを進めます。

重点戦略

ゼロカーボン → 中・活・公

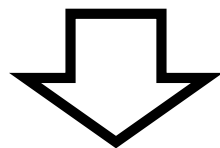
DX → 情

▶ 用語
花いっぱい運動 昭和27年、戦後の気持ちをより豊かにとの願いを

槻井泉神社は、松本市が目指す姿の モデルケースなのでは・・・

自然環境

松本市の都市計画課は整備のみに集中!!



井戸を憩いの場にするには不十分!!

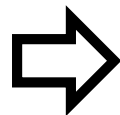
魅力のある井戸にするには

コミュニティ

が必須だから!!

『コミュニティにも働きかける政策が必要!!』

地域の人々が集まる活動(お茶会、蕎麦会、ラジオ体操など)



これらの活動に予算を充てる・支援する